

道徳 - 3 (第2学年) 生徒が書く活動を通して感じ考えたことを班及び学級全体の話合いで深めさせる事例  
【学習活動の概要】

1	主題名 奉仕活動で学んだ大切なこと	4 (5) 勤労・奉仕
2	資料名 加山さんの願い	文部省 道徳教育推進指導資料(指導の手引) 4
3	<p>ねらいとする道徳的価値について</p> <p>人は社会の中で互いに関わり合って存在し、自己実現を目指して日々努力している。働くことは自分が生活していくためだけではない。人のためみんなのために働くことで、喜びや、やりがいを感じるのである。人はだれでも社会や人のために役立ちたいという欲求をもっている。生徒が役立っているという実感をもつことができれば、自己の存在感や集団への帰属感を高めていくことになるだろう。勤労や奉仕を通して社会に貢献するということを自覚し、充実した生き方を追求し実現していくことが一人一人の生きがいのある人生につながることに気付かせる。</p>	
4	<p>資料</p> <p>加山さんは一人暮らしの佐藤さんの孤独死に出会う。それをきっかけにして「訪問ボランティア」に興味を引かれ、登録し活動を始めた。最初に訪れた中井さんは加山さんのことを不愛想に拒絶し、何回かの訪問を重ねても対応は変わらない。しかし、足が不自由な田中さんは感謝をしてくれているので、加山さんは自分なりに満足はしている。訪問した二人の老人を通して、互いに一人の人間として向き合うことの大切さに気付き、主人公が自らの認識の誤りに気付いていく姿から、ねらいに迫っていくことができると考える。加山さんの心情に共感することを通して、話合いを進めていくことで一人一人がもっている誰かの役に立ちたいという気持ちを深めていく。</p>	
5	<p>本時の学習活動</p> <p>【ねらい】勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に尽くす実践意欲を培う。</p>	
	主な学習活動	指導上の留意点
導入	1. 「訪問ボランティア」について考える。 訪問ボランティアを知っているだろうか。	ねらいとする価値への方向付けとする。
展開	2. 資料を読んで話し合う。 中井さんから拒絶されながらも通い続けた加山さんは、どのような気持ちだっただろうか。 「また来よう」と義務感からではなくて、素直にそう思った加山さんの気持ちについて考えてみよう。  傘を持ったまま加山さんが考え続けたこととは何だったのだろうか、考えてみよう。 ・班での話合い ・全体での話合い  加山さんがボランティア活動で分かったことは何だろうか。	<p>独りよがりな考えをとらえ、相手のことを考える姿勢に気付かせる。 二人の気持ちの変化に気付かせる。 相手の心を開くには、自分が相手に心を開き接する大切さを教える。</p> <p>言語活動の充実(発問) 書く活動を通して生徒に自分自身の考えをもたせ、発表し合う中で自分の感じ方や考え方を明確にさせる。 ボランティア活動に必要な特性について考えさせる。</p>
終末	3 学習のまとめをする。 教師の説話を聞く。	

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領・道徳の第3章の第2内容の「4 - (5) 勤労の尊さや意義を理解し，奉仕の精神をもって，公共の福祉と社会の発展に努める。」に関する事例である。本事例は，奉仕の精神をもって公共の福祉のために尽くす実践意欲を培うことをねらいとして，書く活動を通して班さらに学級全体での意見交流により考えを深められるように工夫したものである。

【言語活動の充実の工夫】

書く活動を行い，書いたことを生かしながら様々な意見に触れ，多様な感じ方，考え方を吟味し，判断を加えながらねらいに迫っていきたいと考えた。

一人一人が資料を読んで考えたことを数枚の付箋紙に書き，それを基に班で意見交換をする。付箋紙は模造紙に貼り，班の中で一人一人の意見が反映されるように心がけながら進めていく。班での意見交流の中で生まれた新たな自分の考えや思いなどが書かれた模造紙は，全体の場でも活用する。友達の意見をさらに書き加えることや，キーワード，教師の思いなども書き加えていき，クラス全員で考えを深めていった。

言語活動の実際（展開2 - の概要）

T 1 雨の中で傘を持ったまま加山さんが考え続けたことは何だったのか，考えてみましょう。

T 2 貼りながら話し合い，模造紙に書き込みたいことがあればマジックで書いてもいいです。

班での話し合い

S 1 中井さんは，田中さんと違って自分で何でもできるけれど不安はあったと思う。

S 2 田中さんが，なぜいつもすまなそうな顔をしていたのかというと，「迷惑かけている。申し訳ない。」と思っていたと思う。

S 3 加山さんの「～してあげる」という気持ちがいけなかったんじゃないかな。

S 4 「～してあげる」って，よくないよね。

一つの班の模造紙を黒板に貼る。その班の考えを基に，全体から出てきた考えをさらに書き加えていき，ねらいに迫る。

T 3 話し合いを通して，考えたことを教えてください。

学級全体での話し合い

S 5 「～してあげる」という言い方をしてよかったのかな。やはり，よくなかったと思う。

S 6 加山さんはそれに気づいたから，田中さんに謝ろうと思った。

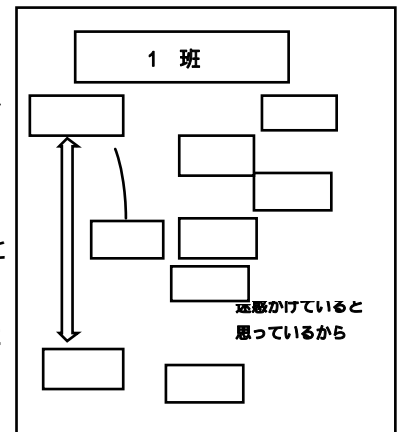
S 7 「～してあげる」というのが上からの目線だからよくなかった。

S 8 田中さんも中井さんのように思っていて本当は嫌だったのかもしれない。

T 4 田中さんにそういう考えもあったかもしれませんね。

S 9 やはり，相手の気持ちを考えることが大切だと思う。

S 10 何でもやってあげること，やればいいと思うことはボランティアじゃないと思いました。



学級全体での話し合いへ

